

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆公示地価2.7%上昇 海外マネーけん引、円安で投資7割増

・国土交通省が発表した2025年1月1日時点の公示地価は、全用途の全国平均が前年比で2.7%上昇。伸びは前年の2.3%を上回り、バブル崩壊後の1992年以降で最高。人口減が進んでも、円安や低金利で調達コストの安い日本市場に海外からの投資マネーが集まっている。不動産「ミニバブル」と呼ばれた2008年でも伸び率は1.7%。

◆金が最高値、一時3024ドル 地政学リスクの高まりで

・金(ゴールド)価格の上昇が止まらない。国際指標のニューヨーク先物(中心限月)は18日、一時前日に比べ18ドル(0.6%)高い1トロイオンス3024.1ドルまで上昇し最高値を2営業日ぶりに更新した。中東などの地政学リスクの高まりを受け、「安全資産」の金に資金が流入した。

◆25年世界成長率、トランプ関税で下方修正 OECD予測

・経済協力開発機構(OECD)は経済見通しで、2025年の世界の経済成長率を3.1%と予測。24年12月時点の予測より0.2ポイント引き下げ。トランプ政権による関税の大幅な引き上げで世界的に貿易が悪化するとみている。世界のインフレ率予想も引き上げた。「貿易政策の大幅な変更が、世界の成長率に打撃を与える」と警戒示す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆大規模下水道管5000キロ全国調査 国交省、埼玉陥没受け

・埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、国土交通省は設置後30年以上の大規模下水道管の特別重点調査を全国で実施すると発表。八潮市の陥没現場と同様の構造や地盤リスクを抱える場所は優先的に調べ、夏までに点検を終えることを目指す。中野洋昌国交相が閣議後記者会見で明らかにした。

◆異形棒鋼、逆風下で値上げ表明増 需要減で固定費重く

・鉄筋コンクリート(RC)造のマンションなどに使う異形棒鋼で、メーカーの値上げ表明が相次いでいる。人手不足で建築工事が進まず、需要減から異形棒鋼は市況のじり安が続いている。ただメーカーにとっては販売・生産が減ったことで固定費の負担が重荷となっており、逆風下でも値上げを打ち出し価格の是正を図る。

◆共同住宅の荷さばきスペース義務化へ前進「特定用途」に追加

・政府は「駐車場法の一部を改正する政令」を閣議決定し、地方自治体が共同住宅への荷さばき駐車スペースの附置(設置)を義務化しやすくなる内容に見直した。共同住宅を、自動車の駐車需要を生じさせる「特定用途」として追加。近年の超高層共同住宅の増加や宅配需要の増加に対応。施行は26年4月1日。

《 注目商品 》

■三協立山・三協アルミ、太陽光パネル搭載可能サイクルポート

・フラットなアルミ材屋根のサイクルポートに「太陽光パネル搭載部材」をオプションで設定。太陽光パネル設置で、再生可能エネルギーによる発電と停電時の電源確保ができる。分離した構造のため、太陽光パネルのサイズや数を調整して後付けで施工が可能。



■ミラタップ、グレーカラーの洗濯機防水パン

・洗濯機の下に設置して水漏れや結露による床の傷みを防止する防水パンに、新たにマットなグレー色を追加。従来の防水パンは白色で光沢感のあるものが多く、濃色の床に設置すると空間に馴染まず目立ってしまうという課題があった。



■ミーレ・ジャパン、豊富な機能のビルトインオーブン

・豊富な機能と優れたデザイン性を兼ね備えながら、低価格化を実現したビルトインオーブンの新モデル。ミーレオーブンでは初めての「AirFry調理モード」を搭載。別売の穴あきトレイと一緒に使用することで、油で揚げるよりもヘルシーな調理ができる。

